学校番号	1101

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学の書写学習が出来ていない生徒が多いので、まずは書写と書道の相違を感じ、これからの学習への関心・意欲を高める
・古典から様々な書体を学ばせ、書き味の違いを知り、表現することの楽しみを深めます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。
・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。

【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え書の美を味わい深く捉えたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】
書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能をみにつけるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の所(楷書・行書・草書)	・書道の世界にふれよう ・漢字の書体の変遷 ・楷書 「孔子霊廟堂碑」 「九成宮醴泉銘」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」 ・行書を学ぼう 「蘭亭序」 「風信帖」 ・草書を学ぼう 「真草千字文」	a:書写から書道の違いを理解している b:古典を見てさまざまな表現をしている c:主体的に課題に取り組んでいる	プリント	作品	発言 鑑賞
後期	(隷書・篆書)　篆刻・漢字仮名まじり・仮名	・隷書を学ぼう 「曹全碑」 ・篆書を学ぼう 「泰山刻石」	a:それぞれの古典の特徴を理解している b:筆の使い方の違いを知り書きわけ表現している c:主体的に課題に取り組んでいる	プリント	作品	発言 鑑賞
		・篆刻を楽しむ	a: 印を作る工程を理解している b:篆書の書き方に慣れ構想している c: 主体的に課題に取り組んでいる	プリント	作品	発言 鑑賞
		・書き初めをしよう 今年の目標を書く	a:漢字と平仮名を使って書くことができる b:自分のことばで自分流に表現する主体的に課題に取り組んでいる c: 主体的に課題に取り組んでいる	プリント	作品	発言 鑑賞
		仮名を学ぼう いろは歌 「蓬莱切」	a:日本独自の文字を認識し味わうことができる b:ひらがなと変体仮名の書き分け表現している c:主体的に課題に取り組んでいる	プリント	作品	発言 鑑賞

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度